

報告 1 教育課程

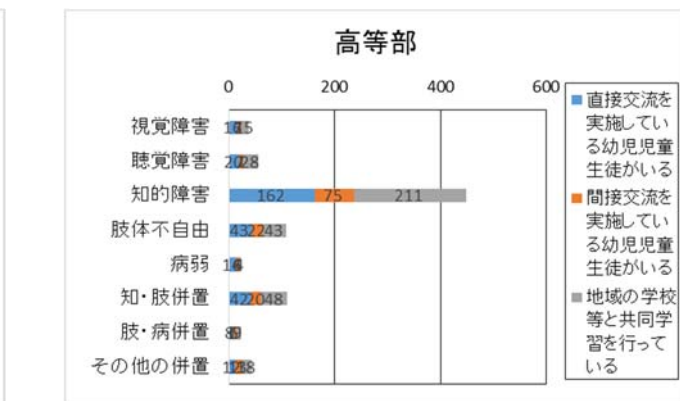
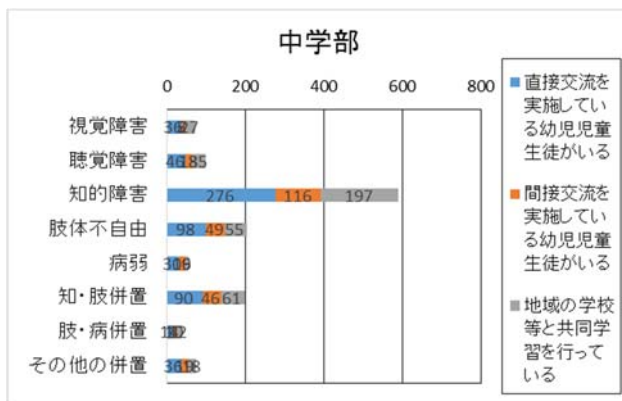
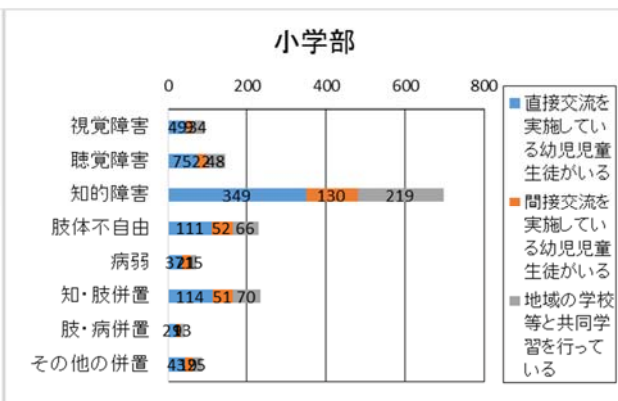
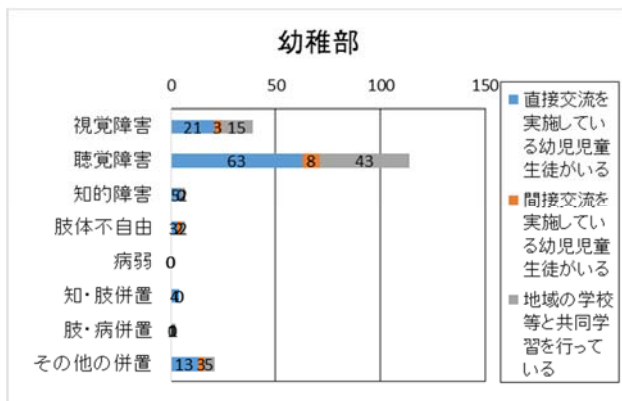
はじめに

本調査は 1071 校の特別支援学校から得られた解答を集計・分析した調査報告である。

「教育課程」の報告では、幼稚部から高等部までの各種別ごとに、「交流」「学習形態」を主な軸として調査を行った。具体的には『各学部における交流及び共同学習の形態』、『交流び共同学習の相手先』や、キャリア教育、防災教育についての設問がある。

【29】各学部における交流及び共同学習の形態を教えてください。

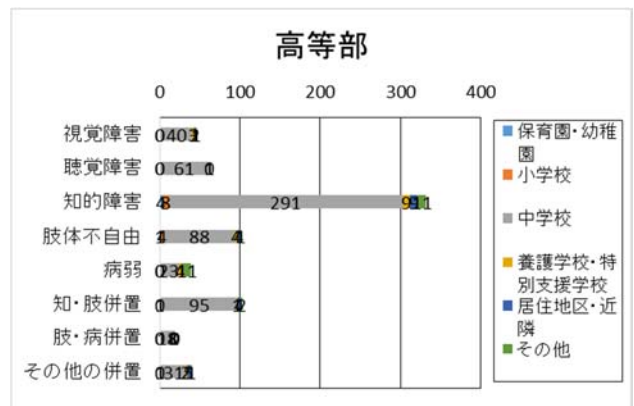
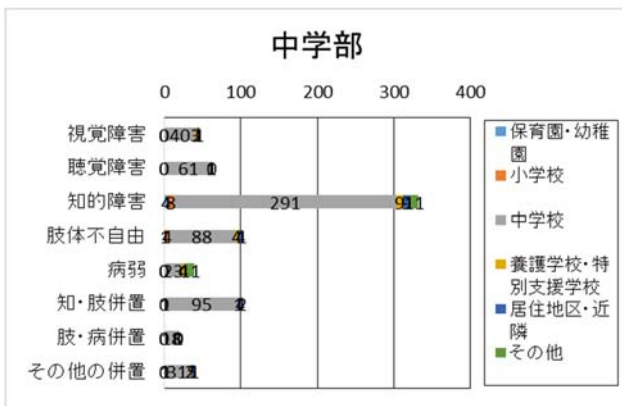
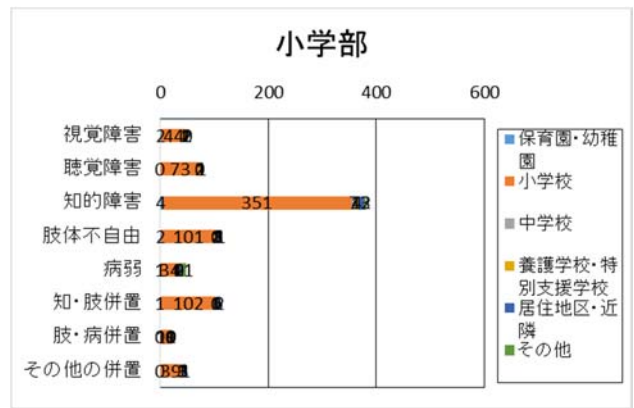
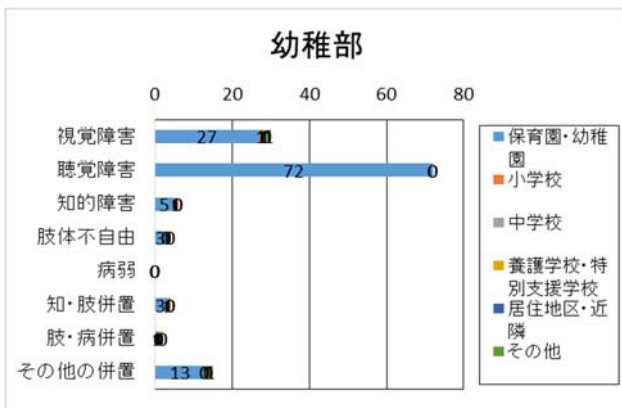
	幼稚部			小学部			中学部			高等部		
	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている
視覚障害	21	3	15	49	9	34	36	8	27	16	7	15
聴覚障害	63	8	43	75	22	48	46	18	35	20	7	28
知的障害	5	0	2	349	130	219	276	116	197	162	75	211
肢体不自由	3	2	2	111	52	66	98	49	55	43	22	43
病弱	0	0	0	37	21	15	30	16	9	14	6	4
知・肢併置	4	0	0	114	51	70	90	46	61	42	20	48
肢・病併置	1	0	1	21	9	13	14	10	12	8	6	9
その他の併置	13	3	5	43	19	25	36	19	18	12	13	18



【30】 交流び共同学習の相手先

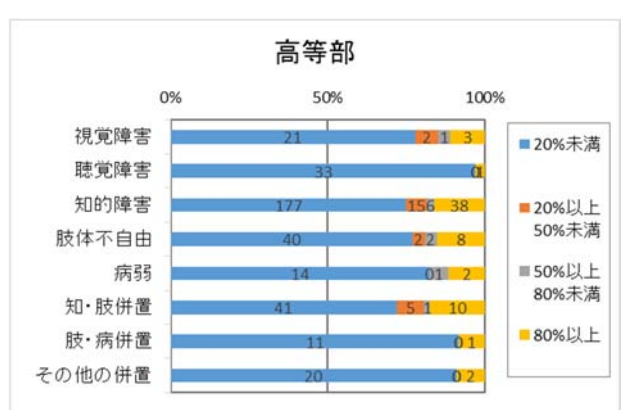
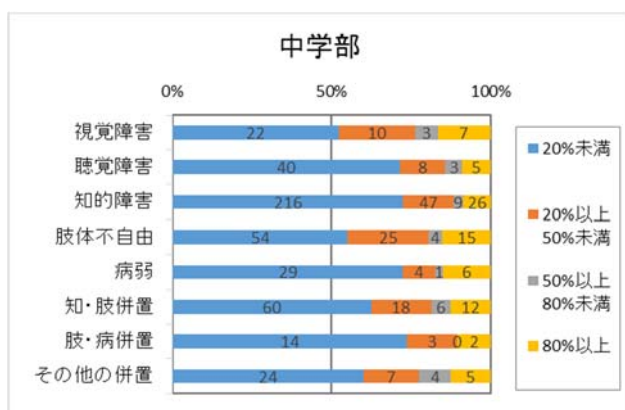
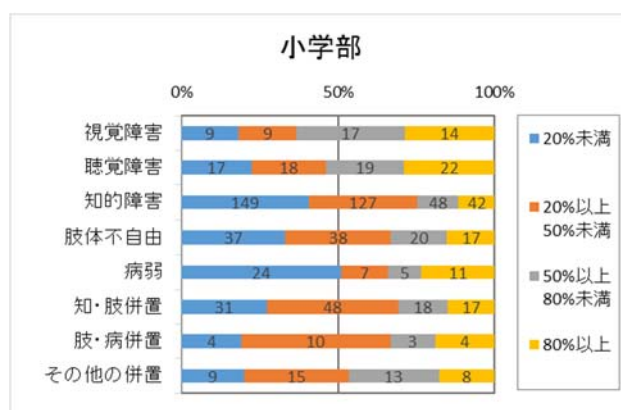
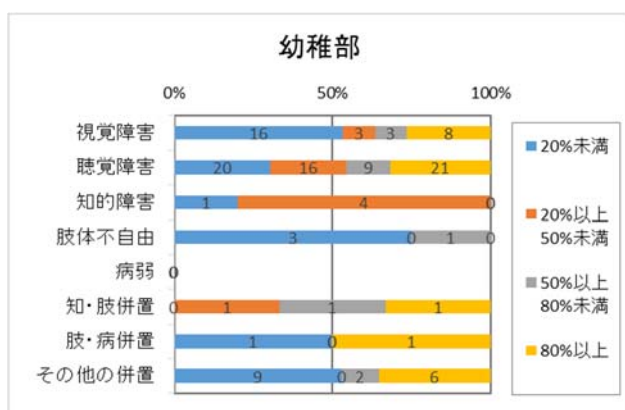
	幼稚部						小学部					
	保育園・幼稚園	小学校	中学校	養護学校・特別支援学校	居住地区・近隣	その他	保育園・幼稚園	小学校	中学校	養護学校・特別支援学校	居住地区・近隣	その他
視覚障害	27	1	1	0	0	1	2	44	1	2	2	0
聴覚障害	72	0	0	0	0	0	0	73	0	2	1	1
知的障害	5	1	0	0	0	0	4	351	7	4	12	3
肢体不自由	3	0	0	1	0	0	2	101	1	0	8	1
病弱	0	0	0	0	0	0	1	34	0	0	2	11
知・肢併置	3	1	0	0	0	0	1	102	1	0	6	2
肢・病併置	1	0	0	1	0	0	0	19	1	0	1	0
その他の併置	13	0	0	1	0	1	0	39	1	3	3	1

	中学部						高等部					
	保育園・幼稚園	小学校	中学校	養護学校・特別支援学校	居住地区・近隣	その他	保育園・幼稚園	小学校	中学校	養護学校・特別支援学校	居住地区・近隣	その他
視覚障害	0	0	40	3	2	1	0	0	0	3	0	1
聴覚障害	0	0	61	1	0	1	0	0	1	4	0	1
知的障害	4	8	291	9	9	11	15	8	15	16	2	8
肢体不自由	1	4	88	4	4	1	1	1	1	4	2	1
病弱	0	0	23	4	1	11	1	0	0	2	0	1
知・肢併置	0	1	95	1	4	2	1	0	3	2	2	5
肢・病併置	0	0	18	0	1	0	0	0	2	2	0	0
その他の併置	0	1	31	2	5	1	0	1	1	3	2	0



【31】 在籍している幼児児童生徒のうち、直接交流をしている者の割合はどの程度ですか。

	幼稚部				小学部				中学部				高等部			
	20%未満	20%以上50%未満	50%以上80%未満	80%以上	20%未満	20%以上50%未満	50%以上80%未満	80%以上	20%未満	20%以上50%未満	50%以上80%未満	80%以上	20%未満	20%以上50%未満	50%以上80%未満	80%以上
視覚障害	16	3	3	8	9	9	17	14	22	10	3	7	21	2	1	3
聴覚障害	20	16	9	21	17	18	19	22	40	8	3	5	33	0	0	1
知的障害	1	4	0	0	149	127	48	42	216	47	9	26	177	15	6	38
肢体不自由	3	0	1	0	37	38	20	17	54	25	4	15	40	2	2	8
病弱	0	0	0	0	24	7	5	11	29	4	1	6	14	0	1	2
知・肢併置	0	1	1	1	31	48	18	17	60	18	6	12	41	5	1	10
肢・病併置	1	0	0	1	4	10	3	4	14	3	0	2	11	0	0	1
その他の併置	9	0	2	6	9	15	13	8	24	7	4	5	20	0	0	2

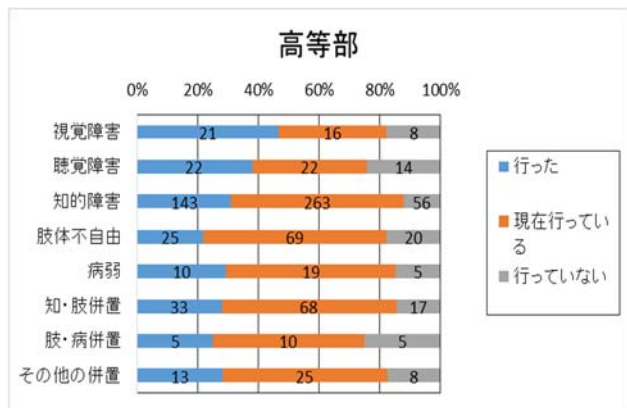
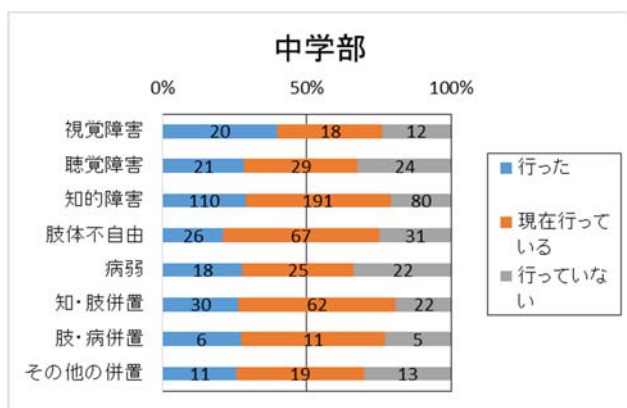
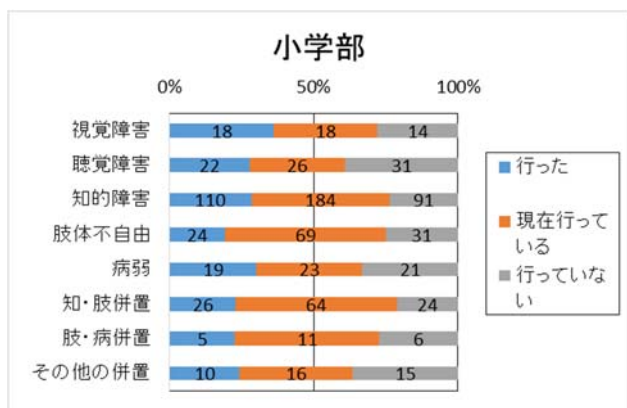
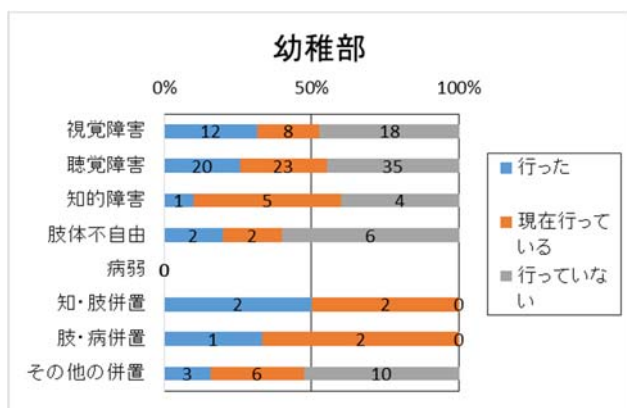


幼稚部から高等部へ、学年が上がるにつれて直接交流の機会は減っていく傾向にある。

幼稚部、小学部の時点では各種別ごとに割合にばらつきがあったものの、中学部、高等部になると一様に「20%未満」が多くを占めていることがわかる。

【32】 キャリア教育の視点から、教育課程の見直しを行っていますか。

	幼稚部			小学部			中学部			高等部		
	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない
視覚障害	12	8	18	18	18	14	20	18	12	21	16	8
聴覚障害	20	23	35	22	26	31	21	29	24	22	22	14
知的障害	1	5	4	110	184	91	110	191	80	143	263	56
肢体不自由	2	2	6	24	69	31	26	67	31	25	69	20
病弱	0	0	0	19	23	21	18	25	22	10	19	5
知・肢併置	2	2	0	26	64	24	30	62	22	33	68	17
肢・病併置	1	2	0	5	11	6	6	11	5	5	10	5
その他の併置	3	6	10	10	16	15	11	19	13	13	25	8



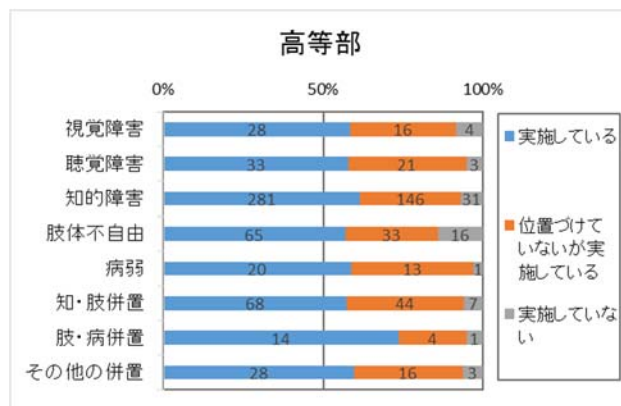
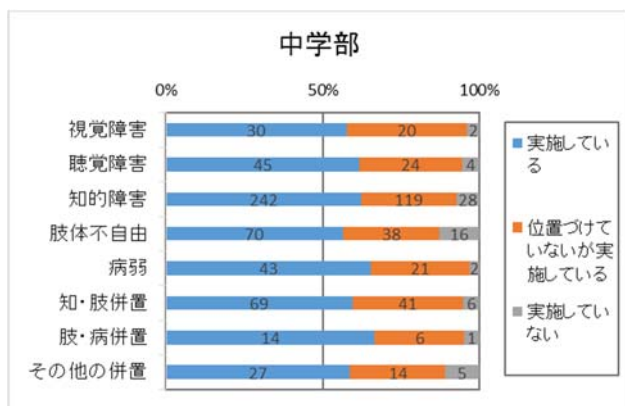
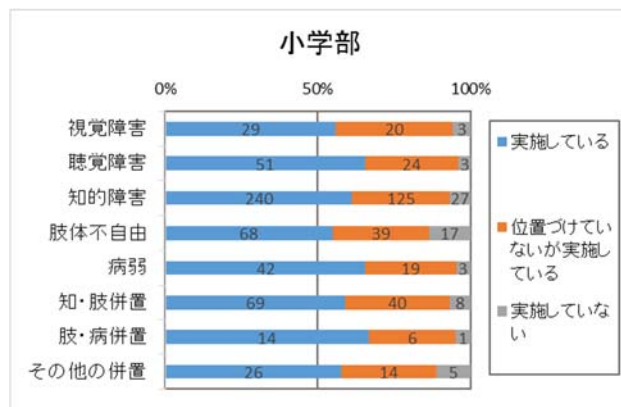
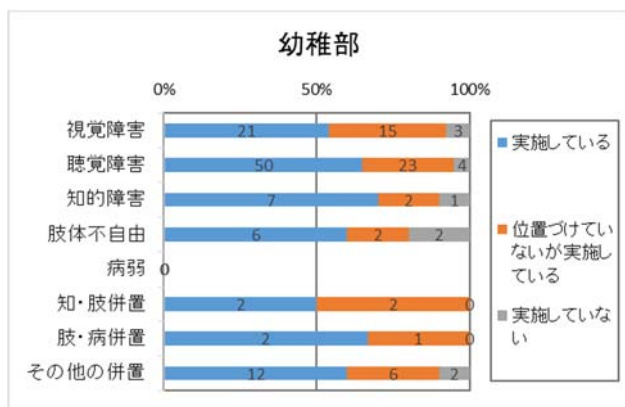
小学部以降、どの種別でも「行った」「現在行っている」の割合が高く、多くの学校で教育課程の見直しが行われている、あるいは実施中ということがわかる。

また、微減ではあるが学年が上がるにつれて「行っていない」件数も減っている。

【33】防災教育を教育課程に位置づけて、実施していますか。

	幼稚部			小学部			中学部		
	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない
視覚障害	21	15	3	29	20	3	30	20	2
聴覚障害	50	23	4	51	24	3	45	24	4
知的障害	7	2	1	240	125	27	242	119	28
肢体不自由	6	2	2	68	39	17	70	38	16
病弱	0	0	0	42	19	3	43	21	2
知・肢併置	2	2	0	69	40	8	69	41	6
肢・病併置	2	1	0	14	6	1	14	6	1
その他の併置	12	6	2	26	14	5	27	14	5

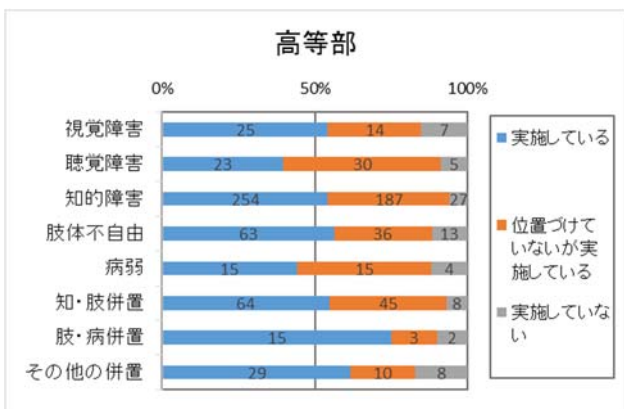
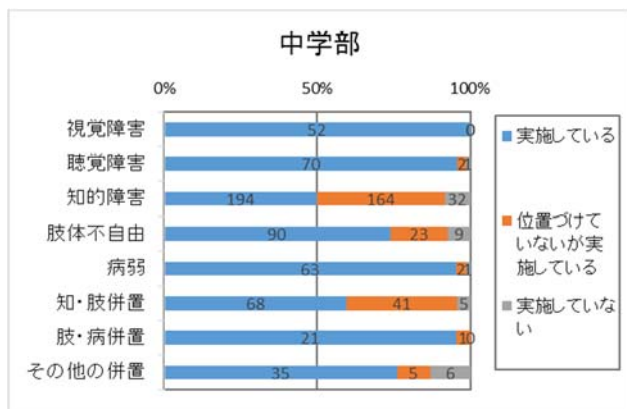
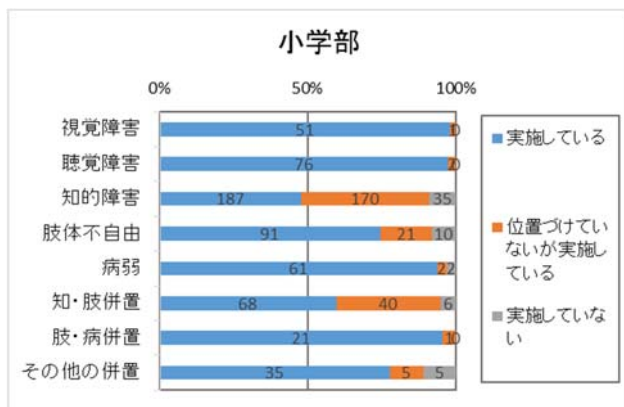
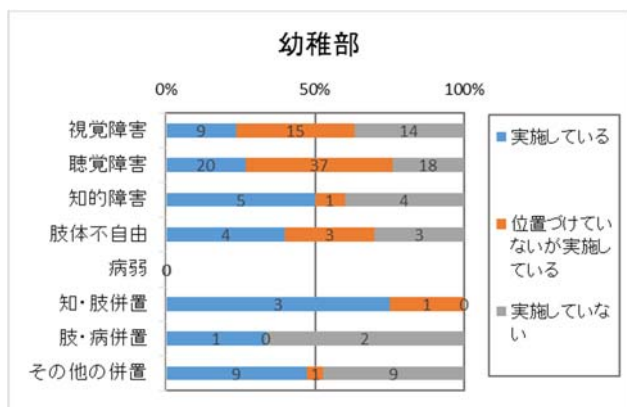
	高等部			専攻科		
	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない
視覚障害	28	16	4	18	20	7
聴覚障害	33	21	3	17	10	2
知的障害	281	146	31	23	4	2
肢体不自由	65	33	16	0	1	3
病弱	20	13	1	0	0	0
知・肢併置	68	44	7	1	0	0
肢・病併置	14	4	1	0	0	0
その他の併置	28	16	3	2	3	0



【34】 道徳教育の実施状況について 《単一選択》

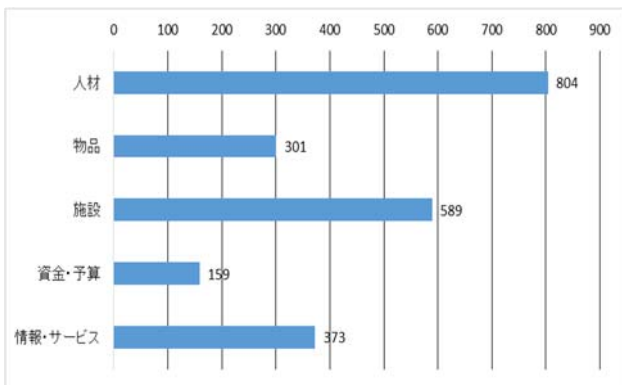
	幼稚部			小学部			中学部		
	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない
視覚障害	9	15	14	51	1	0	52	0	0
聴覚障害	20	37	18	76	2	0	70	2	1
知的障害	5	1	4	187	170	35	194	164	32
肢体不自由	4	3	3	91	21	10	90	23	9
病弱	0	0	0	61	2	2	63	2	1
知・肢併置	3	1	0	68	40	6	68	41	5
肢・病併置	1	0	2	21	1	0	21	1	0
その他の併置	9	1	9	35	5	5	35	5	6

	高等部			専攻科		
	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない	実施している	位置づけていないが実施している	実施していない
視覚障害	25	14	7	6	18	21
聴覚障害	23	30	5	9	10	7
知的障害	254	187	27	9	6	0
肢体不自由	63	36	13	0	0	2
病弱	15	15	4	0	0	0
知・肢併置	64	45	8	0	0	0
肢・病併置	15	3	2	0	0	0
その他の併置	29	10	8	2	3	0



【35】「社会に開かれた教育課程」を編成するために Q63（人事厚生）で回答する外部専門家以外の地域の人材や資源（物品，施設設備，資金・予算，情報・サービス）を活用していますか。

	人材	物品	施設	資金・予算	情報・サービス
視覚障害	40	13	32	15	22
聴覚障害	66	21	42	9	27
知的障害	404	163	322	68	186
肢体不自由	92	26	59	17	39
病弱	45	13	30	7	25
知・肢併置	103	49	73	28	55
肢・病併置	17	2	5	5	6
その他の併置	37	14	26	10	13



さいごに

本調査で防災教育自体を教育課程の位置づけの中で実施していない学校も存在することが判明した。

しかし、【34】の道徳教育についても、教育課程の位置づけでは実施されていない学校も少なからずあるため、そもそもの教育課程の基準を精査する必要があるだろう。

多くの学校で教育課程の見直しを行った／行っていることからそれぞれが問題意識を持って対応している、とも読み取れる・